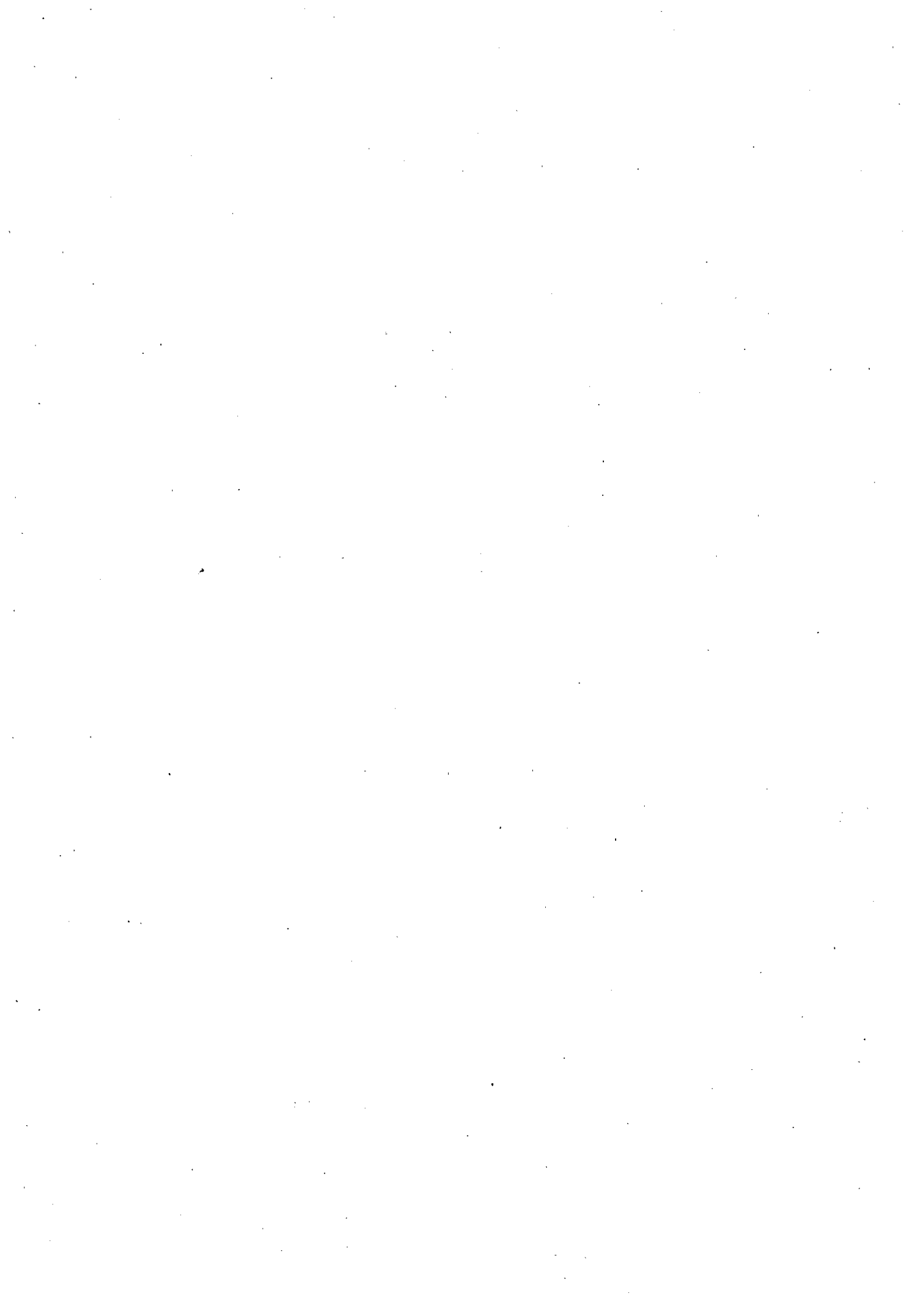


平成31年度
高浜市当初予算の概要



高浜市総務部財務グループ



目 次

1	基本的な考え方	1
2	予算規模	2
3	歳入の状況（一般会計）	3
4	歳出の状況（一般会計）	5
5	市債の状況（借入・返済額と現在高）	7
6	基金（貯金）の状況	9

巻末資料

(1)	広報たかはま（4月1日号） 「平成31年度当初予算の概要」	13
(2)	主要・新規事業一覧	14

1 基本的な考え方

本市の財政状況においては、財源の確保が不安定な中、扶助費などの社会保障費及び公共施設の老朽化対策等の財政需要は確実に増加し、到来する公共施設の順次更新、小中学校への空調機導入等の喫緊の財政需要も多数あり、大変厳しい財政状況に置かれている。

今後、将来ビジョンを見据えた改革への取組みが肝要であることから、平成31年度当初予算編成方針を「新しい時代にチャレンジする予算」とし、より戦略的な視点を持ち、予算編成へ取り組むこととした。また、少子高齢化の進展や公共施設の老朽化対策などにより労働力や財源が同時に減少していくことを踏まえ、これまでの事業について、ゼロベースの検証及び再構築を行い、より効率的な事業推進及び経費削減に努めるため、以下、3つの基本的な考え方を掲げた。

(1) 事業総点検及び効率性の視点

新規事業・既存事業を問わず実施内容について、真に必要な内容なのかすべての事業について総点検の実施を図ること。

(2) 将来ビジョンを見据えた戦略的視点

継続的に発生する費用にも主眼を置き、将来発生する経費を見極め、削減に取り組むこと。

(3) 重点取組事項への財源配分

サマーレビューの結果等を踏まえ、10の重点取組事業に優先的に予算を配分する。

○重点取組事項

平成31年度予算編成は、第6次高浜市総合計画の推進を踏まえ、以下、10の事業を重点取組事業と位置づけた。

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| (1) 徴収率の向上につながる事業 | (2) 公共施設総合管理計画の推進につながる事業 |
| (3) 情報発信の強化につながる事業 | (4) 行政内部事務の省力化につながる事業 |
| (5) 安心な子育て環境につながる事業 | (6) ICT教育につながる事業 |
| (7) 教育環境の向上につながる事業 | (8) 企業誘致・産業振興につながる事業 |
| (9) 防災力の強化につながる事業 | (10) 地域包括ケアシステムの構築につながる事業 |

○予算編成過程

7月～8月	サマーレビューの実施
9月	第1回予算編成会議の開催、予算編成方針の公表
10月～11月	1次査定
12月	第2回予算編成会議の開催、2次査定
1月	当初予算(案)の確定
2月	第3回予算編成会議の開催、当初予算(案)の議会上程

2 予算規模

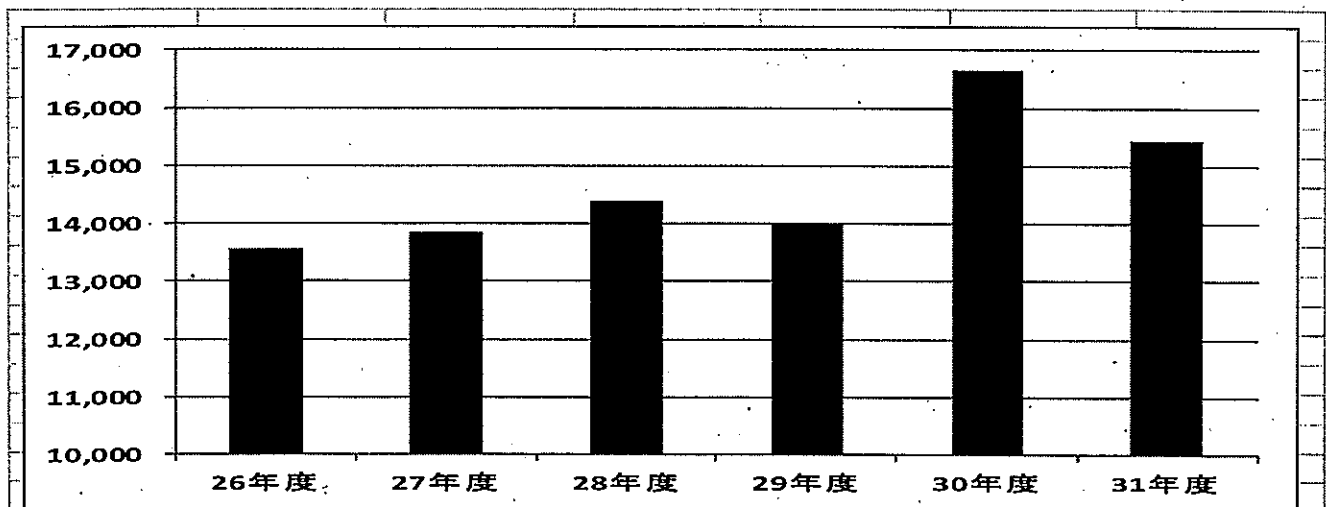
- 一般会計予算規模 過去最高に次ぐ2番目の額（過去最高額 平成30年度：166億6,200万円）
 - 【歳入】◆市税 収入が過去最高額を更新（88億3,636万円、前年度比+1億4,192万円）
 - ◆市債 高浜小学校等整備事業第1期工事完了に伴い、発行額が減少（前年度比▲12億2,030万円）
 - 【歳出】◆高取小学校大規模改造事業実施設計等業務委託料など、公共施設総合管理計画を推進。
 - ◆高取保育園の民間こども園化に伴う、施設型給付費の増のほか、全体的に扶助費が増加。
- 特別会計を含む全会計の予算総額は、254億3,733万円で、前年度比▲9億9,983万円、3.8%減となった。

(1) 全会計（当初予算）予算規模の比較

（単位：千円）

会 計 名	31年度	30年度	増(▲)減	増減率 (%)	
一 般 会 計	15,423,000	16,662,000	▲1,239,000	▲7.4	
特 別 会 計	国民健康保険事業	3,227,900	3,501,354	▲273,454	▲7.8
	土地取得費	41,653	67,822	▲26,169	▲38.6
	公共下水道事業	0	1,729,642	▲1,729,642	皆減
	公共駐車場事業	34,850	34,010	840	2.5
	介護保険	2,672,338	2,622,024	50,314	1.9
	後期高齢者医療	502,767	506,985	▲4,218	▲0.8
	小 計	6,479,508	8,461,837	▲1,982,329	▲23.4
水道事業会計	1,288,427	1,313,335	▲24,908	▲1.9	
下水道事業会計	2,246,399	0	2,246,399	皆増	
合 計	25,437,334	26,437,172	▲999,838	▲3.8	

(2) 予算規模（一般会計）の推移



（単位：百万円）

年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
一般会計	13,568	13,846	14,397	14,027	16,662	15,423
増減率(%)	4.6	2.0	4.0	▲2.6	18.8	▲7.4

3 歳入の状況（一般会計）

- 「市税」は、市民税の個人にて納税義務者増を見込むものの、税額控除の増などにより微減、法人では鉄工関係など法人税割の減を見込む。固定資産税では、新增築家屋及び償却資産の増を見込む。市税合計では過去最高額となる88億3,636万円で、前年度比+1億4,192万円、1.6%増を見込む。
- 「地方消費税交付金」は、平成31年度10月より消費税率の引き上げが見込まれているものの、納税時期の関係から交付金への影響は少なく、前年度比▲800万円、0.9%減を見込む。
- 「国庫支出金」は、高浜小学校等整備事業に係る学校施設環境改善交付金等の減少により、前年度比▲3億9,376万円、17.4%減を見込む。
- 「県支出金」は、認定子ども園の整備事業に係る愛知県子育て支援対策基金事業費補助金等の減少により、前年度比▲1億6,017万円、13.5%減を見込む。
- 「繰入金」は、勤労青少年ホーム跡地発生土等運搬処理をはじめ、臨時的な支出や病院の移転新築費補助金等により、前年度比+4億5,962万円、107.7%増を見込む。
- 「市債」は、高浜小学校等整備事業第1期工事完了に伴い、発行額が減少し、前年度比▲12億2,030万円、73.0%減を見込む。

(1) 一般会計（当初予算）歳入状況の比較

（単位：千円）

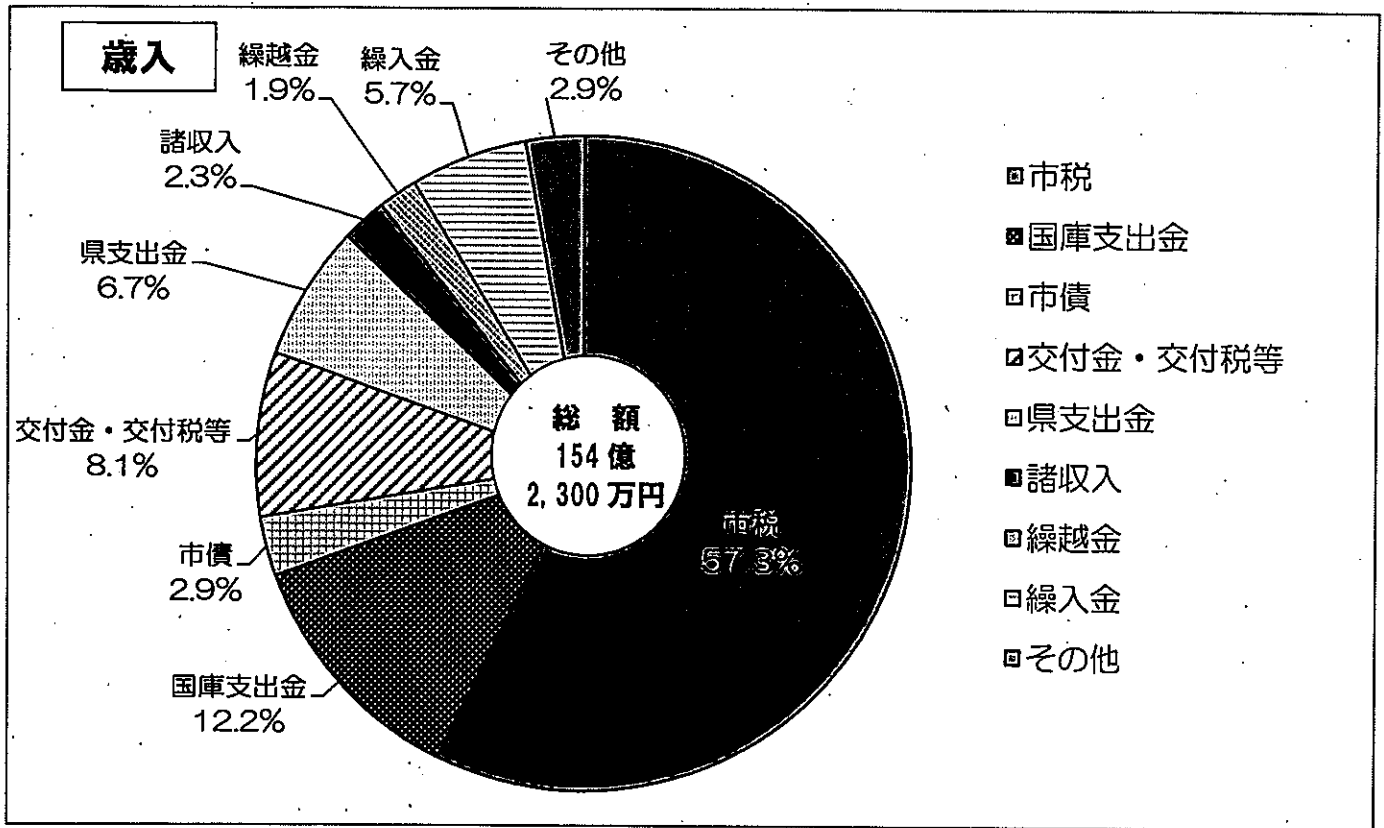
区分	31年度	構成比(%)	30年度	構成比(%)	増(▲)減	増減率(%)
市税	8,836,360	57.3	8,694,433	52.2	141,927	1.6
地方交付税	100,000	0.6	100,000	0.6	0	0.0
国庫支出金	1,874,547	12.2	2,268,308	13.6	▲393,761	▲17.4
県支出金	1,028,195	6.7	1,188,370	7.1	▲160,175	▲13.5
繰入金	886,439	5.7	426,810	2.6	459,629	107.7
市債	450,700	2.9	1,671,000	10.0	▲1,220,300	▲73.0
その他	2,246,759	14.6	2,313,079	13.9	▲66,320	▲2.9
合計	15,423,000	100.0	16,662,000	100.0	▲1,239,000	▲7.4

(2) 市税の内訳

（単位：千円）

税目	31年度	30年度	増(▲)減	増減率(%)
市民税	3,760,426	3,783,435	▲23,009	▲0.6
うち個人市民税	3,050,715	3,052,692	▲1,977	▲0.1
うち法人市民税	709,711	730,743	▲21,032	▲2.9
固定資産税	3,874,750	3,731,374	143,376	3.8
軽自動車税	114,137	104,179	9,958	9.6
市たばこ税	322,319	322,455	▲136	0.0
都市計画税	764,728	752,990	11,738	1.6
合計	8,836,360	8,694,433	141,927	1.6

・固定資産税：土地や家屋の評価替えによる。 ・市たばこ税：喫煙本数の減による。



コラム 市によって納める税金（市税）に差があるの？

「高浜市の税金は他の市より高いんじゃない？」…という声を聞くことがあります。はたして違いがあるのでしょうか？市に納められた税金で金額が大きいものは、①市民税 ②固定資産税 の2種類があり、この2種類について紹介します。

①市民税（所得割）

税額の算出方法： $\{ (\text{所得金額} - \text{所得控除額}) \times \text{税率} \} - \text{税額控除額}$

ポイントは「税率」ですが、「税率」は一般的には「標準税率」というものがあり、西三河地方の各市と同様に高浜市もその税率を使っています。したがって、市民税が高いということはありません。

市町村	税率
高浜市	標準税率
西三河各市	標準税率

②固定資産税

税額の算出方法： $\text{土地や家屋などの固定資産税課税標準額} \times \text{税率}$

土地や家屋などの資産評価の基準は法律で決まっています、高浜市も基準に沿って評価していますので課税標準額は変わりません。「税率」についても全国の多くの自治体と同様に「1.4%」となっています。したがって、固定資産税が高いということはありません。

市町村	税率
高浜市	1.4
全国	1.4

(※一部超過課税を実施している自治体もあります)

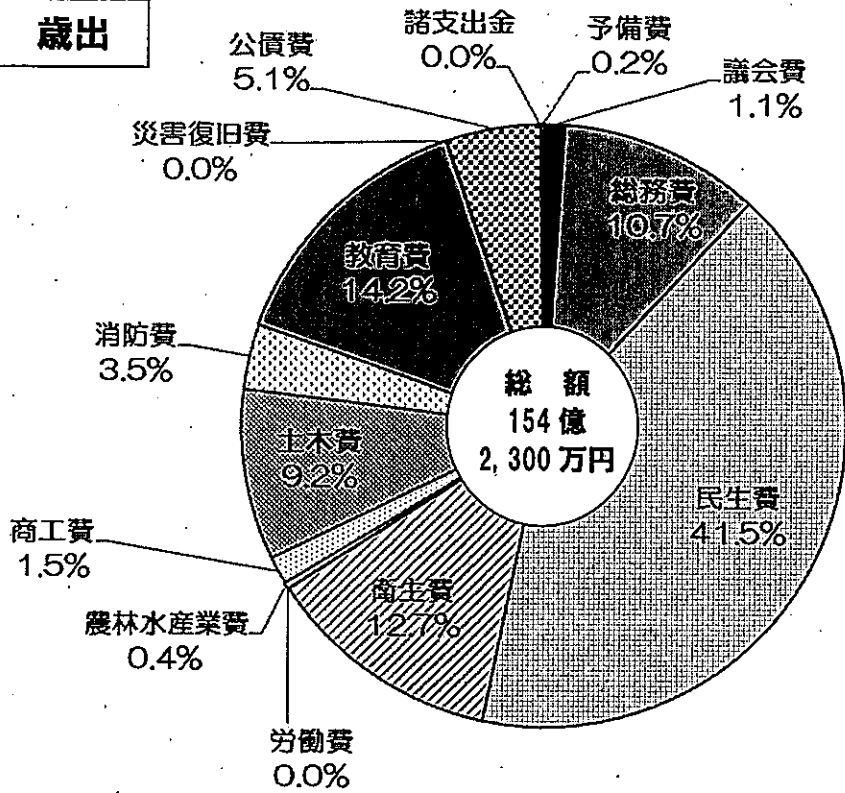
4 歳出の状況（一般会計）

- 「総務費」は、滞納整理システム構築業務委託料、総合収納システム構築業務委託料、ふるさと応援事業支援業務委託料等の増加により、前年度比+1億5,569万円、10.4%増。
- 「民生費」は、施設型給付費、障害福祉サービス等給付費等の増加があるものの、たかとりこども園の整備に伴う、認定こども園整備費補助金の減少等により、前年度比▲2,203万円、0.3%減。
- 「衛生費」は、移転新築費補助金、衣浦衛生組合分担金、経営基盤強化補助金等の増加により、前年度比+2億3,155万円、13.5%増。
- 「農林水産業費」は、服部新田排水機場ポンプ設備更新工事等の皆減により、前年度比▲8,822万円、61.3%減。
- 「商工費」は、企業再投資促進補助金、衣浦臨海鉄道整備費補助金の皆増等により、前年度比+2,256万円、10.9%増。
- 「土木費」は、下水道事業会計出資金、土地購入費等の増加はあるものの、道路改良工事費、湯山住宅排水管修繕工事費等の減少により、前年度比▲9,291万円、6.2%減。
- 「教育費」は、勤労青少年ホーム跡地発生土等運搬処理費等負担金、高浜中学校音楽室増築工事費等、高浜小学校東側法面改修工事費等の増加はあるものの、高浜小学校等整備事業第1期工事完了に伴う、高浜小学校等整備費の大幅な減少等により、前年度比▲14億1,245万円、39.2%減。

(単位：千円、%)

科 目	平成31年度		平成30年度		増 減	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増(▲)減	増減率
議 会 費	163,412	1.1	153,565	0.9	9,847	6.4
総 務 費	1,651,420	10.7	1,495,734	9.0	155,686	10.4
民 生 費	6,400,789	41.5	6,422,815	38.6	▲22,026	▲0.3
衛 生 費	1,953,038	12.7	1,721,494	10.3	231,544	13.5
労 働 費	630	0.0	642	0.0	▲12	▲1.9
農林水産業費	55,595	0.4	143,807	0.9	▲88,212	▲61.3
商 工 費	228,947	1.5	206,389	1.2	22,558	10.9
土 木 費	1,411,630	9.1	1,504,538	9.0	▲92,908	▲6.2
消 防 費	538,963	3.5	529,238	3.2	9,725	1.8
教 育 費	2,194,303	14.2	3,606,752	21.6	▲1,412,449	▲39.2
災害復旧費	4	0.0	4	0.0	0	0.0
公 債 費	794,268	5.1	847,021	5.1	▲52,753	▲6.2
諸 支 出 金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
予 備 費	30,000	0.2	30,000	0.2	0	0.0
合 計	15,423,000	100.0	16,662,000	100.0	▲1,239,000	▲7.4

歳出



- 議会費
- 総務費
- 民生費
- 衛生費
- 労働費
- 農林水産業費
- 商工費
- 土木費
- 消防費
- 教育費
- 災害復旧費
- 公債費
- 諸支出金
- 予備費

用語解説

議会費

議員の報酬や議会事務局の人件費、議会運営などにかかる経費

総務費

市庁舎の管理、市民協働、戸籍住民基本台帳などにかかる経費

民生費

児童、高齢者、障がい者などの福祉にかかる経費

衛生費

ごみ処理、医療、保健衛生などにかかる経費

労働費

労働者の福祉向上や就労支援などにかかる経費

農林水産業費

農業の振興、技術の普及などにかかる経費

商工費

商工業の振興、技術の普及や観光などにかかる経費

土木費

道路・河川・公園などの整備や維持管理にかかる経費

消防費

消防団活動や広域消防にかかる経費

教育費

幼・小中学校、生涯学習などにかかる経費

公債費

市の借金の返済にかかる経費

予備費

緊急に支出を必要とする場合に備えて用意している経費

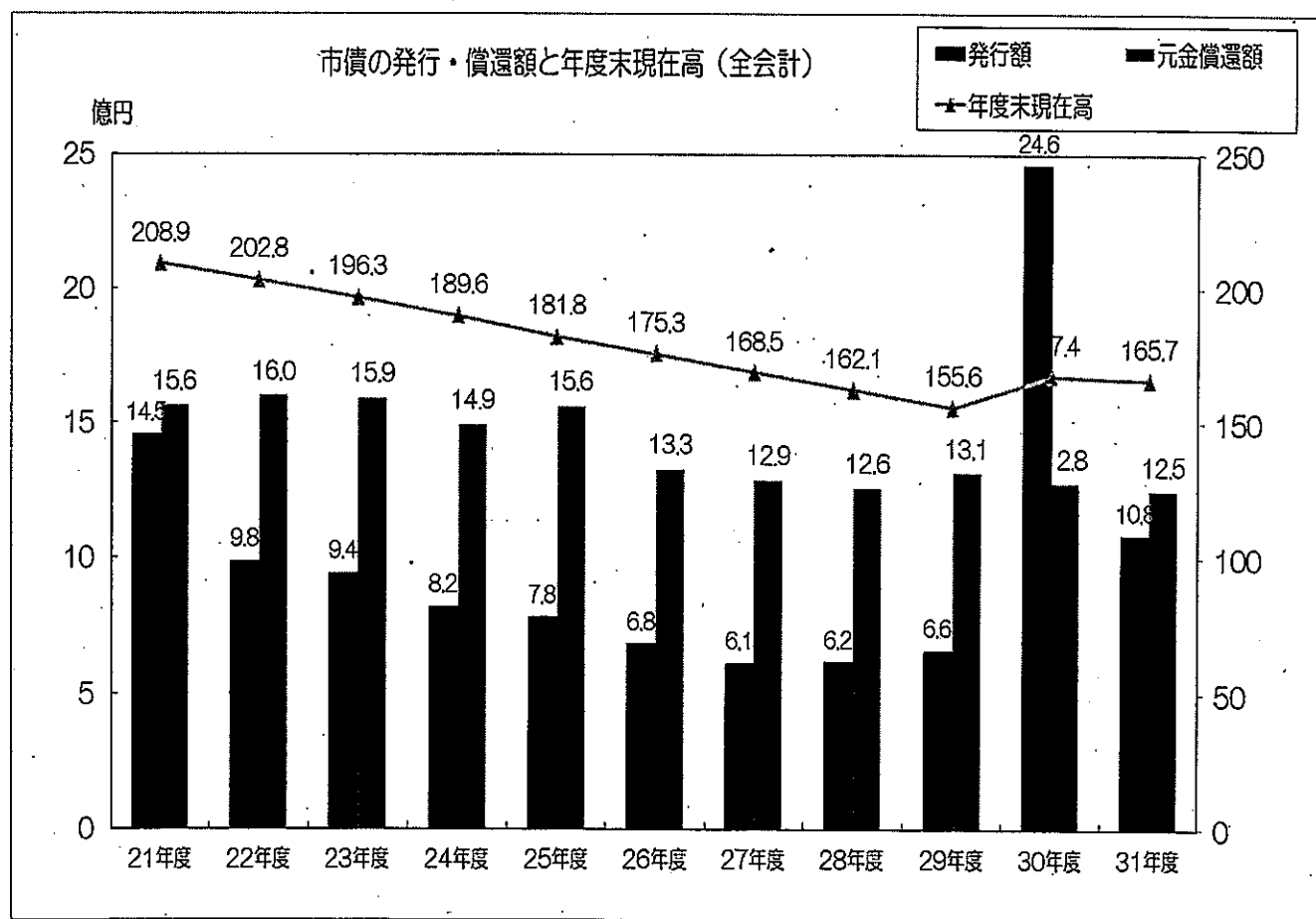
5 市債の状況（借入・返済額と現在高）

市債残高の推移

（単位：千円）

区分		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
一般会計	普通債	2,562,124	2,482,087	2,464,546	3,913,305	4,166,447
	臨時財政対策債等	5,768,768	5,314,952	4,842,469	4,676,798	4,204,649
	小計	8,330,892	7,797,039	7,307,015	8,590,103	8,371,096
企業特別会計	下水道事業特別会計	7,760,205	7,675,598	7,535,856	7,464,265	7,549,660
	水道事業会計	763,433	739,540	712,392	681,904	649,727
合計		16,854,530	16,212,177	15,555,263	16,736,272	16,570,483

備考 市債残高は、平成27年度から平成29年度までは決算額、平成30年度及び平成31年度は見込額を示す。



Q. 市債（借金）はどれくらいあるの？



高浜市の借金が心配ね。現在、どういう状況なのかしら？

長期的に見通しを立て、計画的に借りたい、返したいして、将来に備えて、着実に減らしてきています。



解説

Q. なぜ、市債を発行する（借金をする）の？

A. 公共施設の建設など、いわゆる社会資本の整備には、一度に多額の経費がかかります。その経費を調達するために市債を発行します。市債には主に、次の2つの考え方があります。

①現役世代だけではなく、将来世代においても、整備された社会資本を利用しますので、税負担の公平性の観点から、将来世代にもその財政負担の一部をお願いするというもの。

②社会資本の整備に当たり、整備年度において、一括して財源を負担することは、当該年度の財政運営に支障を及ぼす恐れがあり、適切ではないため、負担の平準化を図るというもの。

Q. 市債（借金）残高の推移は？

A. 平成13年度には、市債残高は255億円ありましたが、近年市債の残高は年々減ってきており、平成31年度末は166億円と見込んでいます。

これは、「かわら美術館」や「三河高浜駅付近」をはじめとする市街地の再開発などに借りたいお金の返済が終わってきているためです。また、近年は投資的経費が低かったため、市債の発行が少なかったことも理由のひとつです。

【参考】地方債（市債）現在高／標準財政規模（％） 67.38％（18位／791市）

（全国都市財政年報 全国791都市・2017年度決算／日本経済新聞出版社）より

平成29年度末の本市の標準財政規模に対する地方債現在高の割合は、67.38％で、全国ランキング18位となりました。このことは、将来の財政負担が少ないことを意味しており、財政の弾力性を確保する要素となっています。

Q. 今年は去年に比べて残高が増えていますが、これから先はどうなるの？

A. ここ数年、「市債の発行額」は、少しずつ増えてきています。そして、平成30年度は、高浜小学校等整備事業を実施するため、発行額と残高見込みが大きく増えました。これからも老朽化した公共施設の改修が見込まれ、その財源として借入れをする予定ですので、今後、市債残高が増えていくことが予想されます。

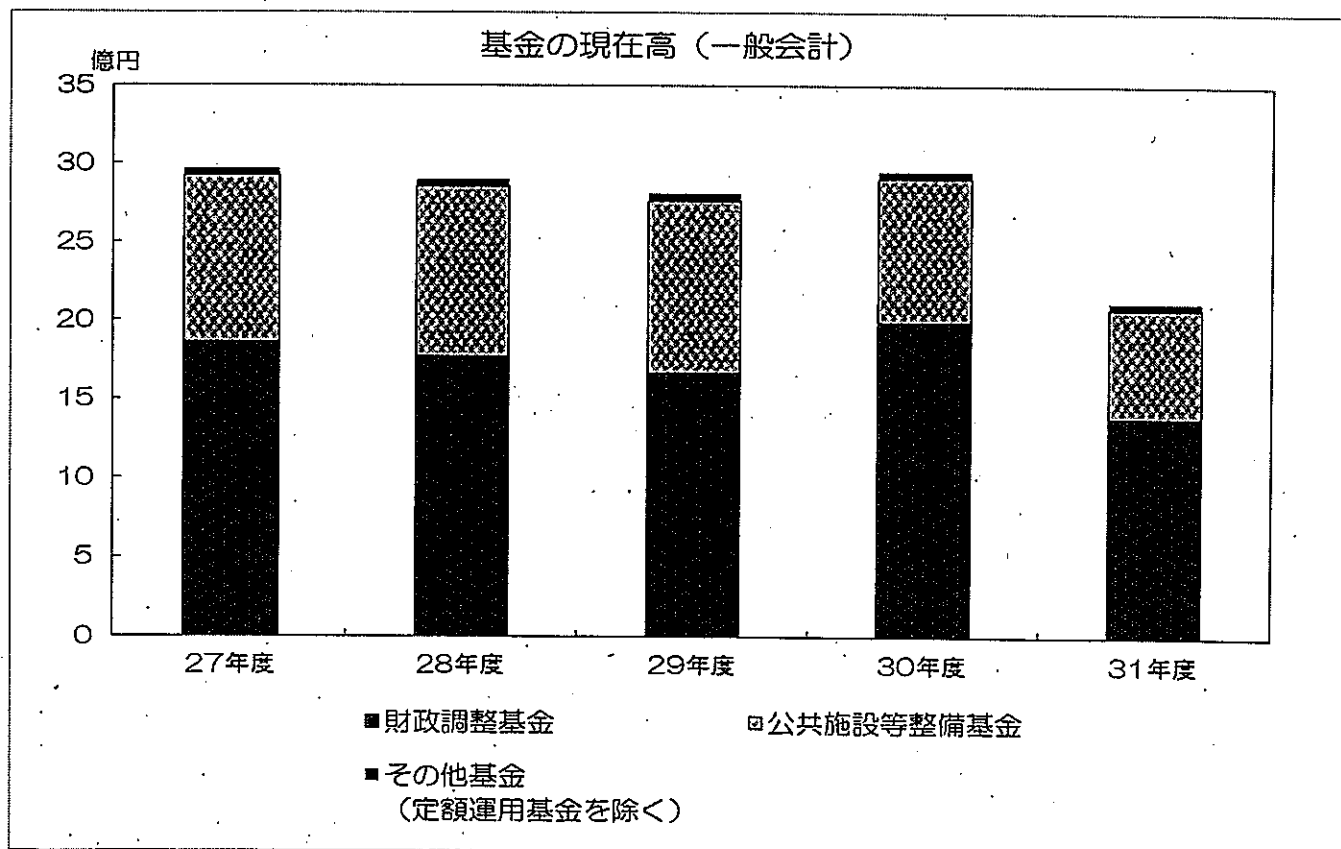
6 基金（貯金）の状況

基金年度末残高の推移

(単位：千円)

区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
財政調整基金	1,854,030	1,764,692	1,658,610	1,984,901	1,426,924
公共施設等整備基金	1,069,193	1,086,283	1,103,240	920,983	692,145
その他基金 (定額運用基金を除く)	43,426	46,680	48,759	45,953	46,775
合計	2,966,649	2,897,655	2,810,609	2,951,837	2,165,844

備考 基金の年度末残高は、平成27年度から平成29年度までは決算額、平成30年度及び平成31年度は見込額を示す。



Q.

市の基金（貯金）はどれくらいあるの？



高浜市にも貯金があるわよね。

これからのためにちゃんと貯蓄できているのかしら？？

実は貯金はあまり多くありません…。

ですが、公共施設のためのお金は蓄えてきています。



解説

Q. 基金（貯金）の状況は？

A. 高浜市には突然の不景気や大規模災害などに対応し、何の目的にも使える自由度の高い基金である「財政調整基金」や学校などの公共施設の整備に使うための「公共施設等整備基金」など 10 種類の基金があります。

リーマンショック前、「財政調整基金」残高は 20 億円を超えていましたが、リーマンショックの影響により毎年使うお金が市税などの収入では足りず、基金を崩した結果、平成 24 年度には 10 億円まで減少しました。平成 31 年度末の残高は 14 億円を見込んでいます。

Q. 公共施設整備の基金は？

A. 公共施設等の整備に必要な財源を確保するため、平成 21 年度に「公共施設等整備基金」を設置し、計画的な積み立てを行っていています。このように積み立てしてきたお金を、学校の大規模改修を始めとする、公共施設の整備のために使う予定です。これからも計画的に積み立て、使っていきます。

【参考】基金（積立金）／標準財政規模（％） 28.14％（579 位／791 市）

（全国都市財政年報 全国 791 都市・2017 年度決算／日本経済新聞出版社）より
平成 29 年度末の本市の標準財政規模に対する基金現在高の割合は、28.14％で、全国ランキングは 579 位と、下位 1/3 レベルにあります。このことは、将来の財源不足への対応や大規模な災害が発生した場合の財政余力が乏しいことを示しています。

Q. これから先は？

A. 財政運営の安定化を図るためには、財政調整基金の積み立てが必要です。

一般的に、財政調整基金残高の目安は、標準財政規模の 10％といわれ、本市では 10 億円となりますが、リーマンショックの影響で 10 億円減少したことを踏まえ、目標額を 20 億円と設定し、計画的に積み立てを行っていきます。

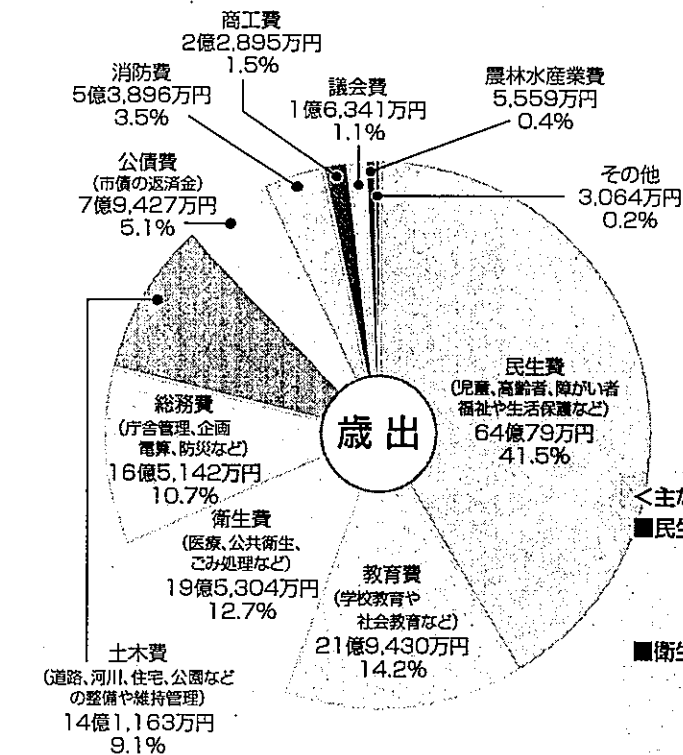
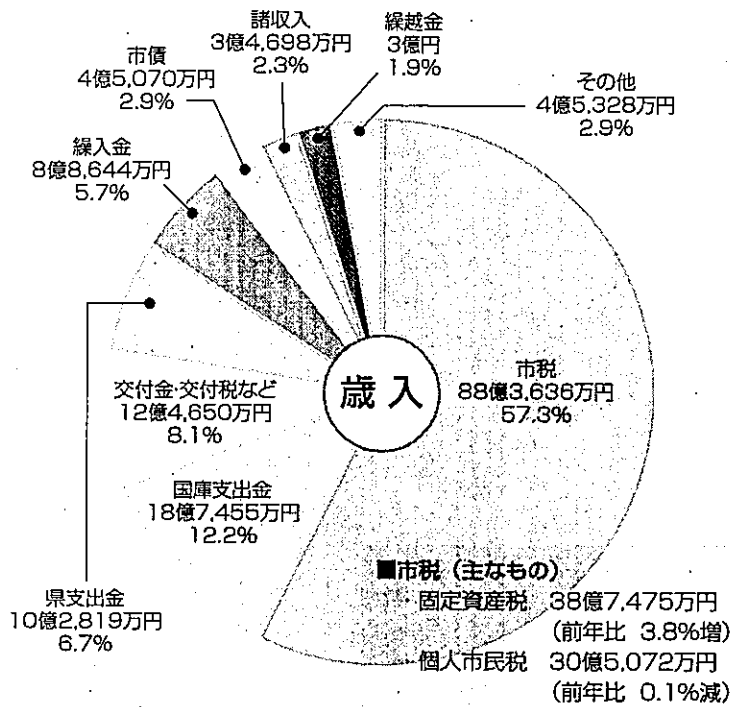
巻末資料

(1) 広報たかはま（4月1日号）

「平成31年度当初予算の概要」

(2) 主要・新規事業一覧

《一般会計の歳入・歳出》



平成31年度 当初予算 の概要

平成31年度の各会計予算が市議会3月定例会で可決されました。新年度予算の概要をお知らせします。

問合せ先 困財務グループ
☎52-1111

当初予算 全会計総額

254億3,733万円
(前年比3.8%減)

一般会計
154億2,300万円
(前年比7.4%減)

特別会計
64億7,951万円
(前年比23.4%減)

<内訳>

国民健康保険事業	32億2,790万円
土地取得費	4,165万円
公共駐車場事業	3,485万円
介護保険	26億7,234万円
後期高齢者医療	5億 277万円

企業会計

35億3,482万円
(前年比169.1%増)

<内訳>

水道事業	12億8,842万円
下水道事業	22億4,640万円

<主なもの>

- 民生費・高齢者、障がい者福祉などに対する事業費 (社会福祉費) 30億5,529万円
- こどもの福祉などに対する事業費 (児童福祉費) 30億2,132万円
- 衛生費・保健、予防接種などの事業費 (保健衛生費) 10億2,169万円
- ごみ処理などの事業費 (清掃費) 9億3,135万円

一般会計とは

一般会計とは、市の会計の基本となるもので、市税収入を主な財源として、福祉の充実や道路の整備など市の基本的な施策に要する経費を経理する会計です。

特別会計とは

特別会計とは、特定の事業を行う場合に、その特定の収入を特定の支出に充て、一般会計と別に経理する会計です。

企業会計とは

企業会計とは、独立採算による特定の事業を経理する会計です。

(2) 主要・新規事業一覧

NO	事業名	事業費	頁
1	広報広聴事業 (コンテンツマネジメントシステム等使用料)	(債務負担) 20,330 千円	15
2	防災活動事業 (市町村防災支援システム導入業務委託等)	2,381 千円	16
3	高齢者等生活支援事業 (個人賠償責任保険料)	138 千円	17
4	介護保険システム電算管理事業 (人工知能システム活用ケアプラン作成支援業務委託等)	1,159 千円	19
5	保育園管理運営事業 (施設型給付費)	225,989 千円	21
6	公園整備管理事業 (公園等整備工事)	7,321 千円	23
7	教育指導事業 (プログラミング教育支援員謝礼等)	2,636 千円	24
8	児童生徒健全育成事業 (学校司書賃金等)	1,508 千円	25
9	小学校維持管理事業 (高取小学校大規模改造事業実施設計等業務委託)	(債務負担) 90,047 千円	27
10	小学校維持管理事業 (長寿命化計画策定業務委託等) 中学校維持管理事業 (長寿命化計画策定基礎調査業務委託)	(債務負担) 70,356 千円	29
11	小学校維持管理事業 (港小学校照明器具LED化工事) 中学校維持管理事業 (高浜中学校・南中学校照明器具LED化工事)	82,829 千円	31
12	中学校維持管理事業 (高浜中学校音楽室増築工事等)	224,261 千円	33
13	生涯学習施設管理運営事業 (地域交流施設運営業務委託)	5,022 千円	35

主要・新規事業等

事業名等	広報広聴事業 (コンテンツマネジメントシステム等使用料)《債務負担行為》【新規】											
担当グループ	企画部総合政策グループ											
総合計画区分	基本目標	I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう					個別目標	(1) まちへの想いを育み、いつまでも住み続けたいと思えるまちをつくります				
予算区分	会計	一般会計	款	02総務費	項	01総務管理費	目	08広報広聴活動費				
アクションプラン	■該当する □該当しない											
事業概要	事業の必要性・実施の背景	ICTの急速な進展によるスマートフォンの普及など、情報機器やそれを扱う人々の環境は目まぐるしく変化している。高度化・多様化する利用者のニーズやウェブアクセシビリティへの対応、各種災害時を想定しての自治体ホームページにおける緊急情報発信の重要性も高まっていることから、安定・継続した情報発信を実現できる環境の整備が必要である。										
	目的(何のために)	ホームページ及びシステム環境のリニューアル(コンテンツマネジメントシステムの導入)を行い、市内・市外を問わずより多くの人に関覧・活用が見込める機能性・デザイン性のあるホームページ、また職員が効率的かつ容易に更新できる管理システムを構築し、情報発信の「スピード感」「総情報量アップ」を目指す。										
	対象(誰・何を対象に)	市民、市外の方で高浜市に関心を寄せている方										
	事業内容(手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> 公募型プロポーザル方式によりホームページリニューアル業者を選定する。 各所属の担当者に対して研修会を実施する。 リニューアルしたホームページを公開する。 あらゆる媒体を通して、ホームページがリニューアルされることを広報する。 										
目指す成果(期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> ネット社会に対応した情報発信の強化を行える(若い世代への対応)。 シティプロモーションの観点を広報に入れ込むことができる(市外の方への対応)。 市民目線での情報発信を行うことで、細かなまちの情報を届けることができ、愛着や誇りの向上が期待できる(居住している方への対応)。 市政運営の透明性を高め、説明責任を果たせる。 											
目標設定(なるべく定量的な目標値を記入)	目標(何をどのようにする)									達成時期(いつまでに)		
	<ul style="list-style-type: none"> 市の情報発信に満足している人の割合を65%にする HPの年間平均アクセス数を20%増加させる(平成29年度: 10,856件) 									平成33年4月		
平成31年度	事業費(経費)		財源内訳(単位:千円)									
	4,066千円		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
	4,066											
事業費積算内容	《現年度予算》 コンテンツマネジメントシステム等使用料 4,066千円 《債務負担行為》 期間:平成32年度~平成35年度 限度額:コンテンツマネジメントシステム等使用料 16,264千円 《合計》 20,330千円											
平成31年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール	★実施要項・仕様公開 ★プロポーザル(業者選定)						◎リニューアル			◆運用及び検証(必要に応じ)		
	移行ページの精査(各所属)						◆職員研修 ◆確認作業			→		
	ページ移行作業											
予算書及び予算説明書該当ページ	103・270ページ											

主要・新規事業等

事業名等	防災活動事業（市町村防災支援システム導入業務委託等）【新規】													
担当グループ	都市政策部都市防災グループ													
総合計画区分	基本目標	Ⅲ 明日を生み出すエネルギーやる気を活かせるまちをつくろう						個別目標	(9) 安全・安心が実感できるまちづくりを進めます					
予算区分	会計	一般会計			款	02総務費		項	01総務管理費		目	18防災対策費		
	事業名 01防災活動事業													
アクションプラン	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない													
事業概要	事業の必要性・実施の背景	災害対応での行政による避難判断等の遅れや誤りは、市民の避難行動等に多大な影響を及ぼす。災害による逃げ遅れゼロを目指し、適切な避難判断及び災害情報の発信等に努めていくことが求められている。平成30年6月より、市町村の「避難勧告等の迅速な意思決定の支援」及び「災害対応業務の効率化」を目的に、愛知県が開発した本システムが運用開始され、各市町村において導入を進めている。												
	目的（何のために）	本システムを活用し、愛知県や気象庁等と連携した避難判断の意思決定及び災害情報の発信などの災害対応に努めることで、市民等の逃げ遅れゼロを目指すため。 また、被害状況や避難者数等、災害情報を一元管理することで、災害対応業務の効率化を図るため。												
	対象（誰・何を対象に）	市民等												
	事業内容（手段、手法など）	《実施内容》 市町村防災支援システムを10月までに整備し、災害対応業務に活用する。 《手段・手法》 本システムの主な機能である、避難勧告等発令機能、避難者管理機能、救護物資管理機能、時系列表示機能、地図表示機能、広報支援機能を活用し、市民等の逃げ遅れゼロを目指すとともに、災害対応業務の効率化を図る。												
目指す成果（期待される効果）	本システムを活用し、市民等に対し適切なタイミングで避難情報を始めとする災害情報等を発信することで、市民等の速やかな避難行動に繋がり、被害を最小限に抑えることが期待できる。 また、各種システム機能の活用により、災害情報が一元化され、災害対応業務の効率化が期待できる。													
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）			
	市町村防災支援システムを導入し、適切なタイミングで災害情報等を発信する体制を整える。										平成31年10月			
平成31年度	事業費（経費）			財源内訳（単位：千円）										
	2,381千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			1,811			
事業費積算内容	・市町村防災支援システム導入業務委託料 1,713千円（システムの初期設定費用） ・市町村防災支援システム使用料 668千円													
平成31年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期				
事業実施スケジュール	システム導入準備（補助金申請、入札、初期設定など）						→							
							システム運用開始 →							
予算書及び予算説明書該当ページ			115ページ											

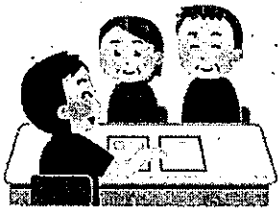
主要・新規事業等

事業名等	高齢者等生活支援事業（個人賠償責任保険料）【新規】												
担当グループ	福祉部福祉まるごと相談グループ												
総合計画区分	基本目標	Ⅳ いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう						個別目標	(10) 一人ひとりを認め合い、その人らしく 暮らせるまちづくりを進めます				
予算区分	会計	一般会計	款	03民生費	項	01社会福祉費	目	05高齢者在宅・施設介護費					
	事業名 04高齢者等生活支援事業												
アクションプラン	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない												
事業概要	事業の必要性・実施の背景	認知症の人の徘徊は、事故による本人の被害にとどまらず、踏切事故や他者へ損害を与えることもある。その損害賠償は家族に及び可能性があり、社会全体で支える仕組みが必要とされている。											
	目的（何のために）	認知症の人やその家族が、地域の中で安心して暮らせるまちを目指す。											
	対象（誰・何を対象に）	高浜市認知症高齢者等見守りSOSネットワークに事前登録された在宅生活者											
	事業内容（手段、手法など）	《実施内容》 SOSネットワークの事前登録者を対象に、登録者本人を被保険者とし、高浜市を保険契約者とする個人賠償責任保険に加入する。 《手段・手法》 ・SOSネットワーク事前登録者に保険制度について説明を行う。 ・ケアマネジャーや介護事業所など関係機関に個人賠償責任保険について周知を行う。 ・認知症に関する相談時やSOSネットワーク事前登録の際に当該事業について説明を行う。											
目指す成果（期待される効果）	認知症になっても、本人の意思が尊重され自分らしく暮らすことができるまちの実現												
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）		
	SOSネットワークの事前登録者数を倍増させる。										平成32年3月		
平成31年度	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）										
	138 千円		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					138	
事業費積算内容	個人賠償責任保険料 138千円 【算出根拠】 事前登録者数（新規登録者含む）60名 × 2,300円（1名あたりの年間保険料）												
平成31年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			
事業実施スケジュール	●保険加入（6月1日～）												
	●SOSネットワーク事前登録済の方への案内及び保険加入の同意確認												
	●関係機関への周知												
	●新規事前登録者の受付（随時）												
予算書及び予算説明書該当ページ		141ページ											

主要・新規事業等

事業名等	介護保険システム電算管理事業 (人工知能システム活用ケアプラン作成支援業務委託等) 【新規】													
担当グループ	福祉部介護保険・障がいグループ													
総合計画区分	基本目標	Ⅳ いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう						個別目標	(11) 一人ひとりの元気と健康づくり を応援します					
予算区分	会計	一般会計			款	03民生費		項	01社会福祉費		目	07介護保険推進費		
	事業名: 03介護保険システム電算管理事業													
アクションプラン	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない													
事業概要	事業の必要性・実施の背景	ケアプランを作成する個人の技術レベルや意識を高めることは、質の高い介護サービスの提供につながる。しかし、人材不足等を背景に、技術レベル向上のための研修等への参加や先輩から後輩への技術指導が困難になりつつある。												
	目的 (何のために)	過去の膨大なケアプランを学習した人工知能システム(AI)が要介護者の身体機能や心身の状態から最適なケアプランを提案することにより、経験の浅いケアマネジャーであっても質の高いケアプランを作成できるようにするとともに、ケアプラン作成の効率化を図る。												
	対象 (誰・何を対象に)	市内ケアマネジャー及び要介護者												
	事業内容 (手段、手法など)	AIを活用したケアプラン作成システムを高浜市が借上げ、参加を希望する市内事業者のケアマネジャー5名を募集する。 平成31年7月からシステムを使用してもらい、平成32年3月までに効果について検証する。 内容については以下のとおり。 ①参加者説明会 ②事業参加ケアマネジャー5名に対する操作説明会 ③ケアマネジャーによるAIを活用したケアプラン作成 ④事業検証												
目指す成果 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> 要介護者にとって、ケアマネジャーの経験に基づいた従来のケアプランとAIによるケアプランを比較することにより、ケアプラン作成におけるAIの有効性を検証する。 AI活用による質の高いケアプランが提供できれば、重症化の予防が図られるとともに要介護者が効率よく適正なサービスを受けられるようになる。 													
目標設定 (なるべく定量的な目標値を記入)	目標 (何をどのようにする)										達成時期 (いつまでに)			
	検証結果をもとに事業者に対するシステム利用補助の創設について検討する。										平成32年3月			
平成31年度	事業費(経費)			財源内訳(単位:千円)										
	1,159千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	1,159					
事業費積算内容	人工知能システム活用ケアプラン作成支援業務委託料 743千円 機械器具費(タブレット購入費) 302千円 通信運搬費(タブレット回線使用料) 84千円 消耗品費 30千円													
平成31年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期				
事業実施スケジュール	→ 契約事務			→ 参加者説明会			→ ケアマネ決定、操作説明会			→ ケアプラン支援サービス利用				
										→ 事業検証				
予算書及び予算説明書該当ページ	143・145ページ													

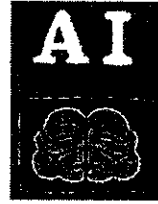
資料等(位置図等)



ケアマネージャーが居宅訪問



心身の状況等をシステム入力



AIがケアプランを提案



本人・家族の意向等を元にケアプランを決定

主要・新規事業等

主要・新規事業等												
事業名等	保育園管理運営事業（施設型給付費）【継続】											
担当グループ	こども未来部こども育成グループ											
総合計画区分	基本 目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて 豊かな未来を育もう					個別 目標	(5) 子育て・子育てを支える 環境を整えます				
予算区分	会計	一般会計		款	03民生費		項	02児童福祉費		目	02保育サービス費	
	事業名 02保育園管理運営事業											
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない											
事業概要	事業の必要性・実施の背景	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳未満児で待機児童が発生している。 ・保育園は入園希望者が定員を上回っているが、公立幼稚園では定員割れが続いている。 										
	目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・安心してこどもを産み、育てられるよう、保育ニーズに対応した子育て環境を整える。 										
	対象 (誰・何を対象に)	就学前の児童及びその家族										
	事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設型保育給付施設である認定こども園の翼幼保園及び平成31年4月開所のたかとりこども園（幼保連携型認定こども園）の運営費を施設運営主体の法人に毎月給付する。 ・公定価格－利用者負担額＝施設型給付費（給付額） 										
目指す成果 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・安心してこどもを産み、育てられるような、保育ニーズに対応した子育て環境が進む。 ・民間法人の運営により、保育サービスの充実が図られる。 											
目標設定 (なるべく定量的な 目標値を記入)	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）	
	平成31年4月開所のたかとりこども園（幼保連携型認定こども園）で定員194名の児童を受け入れる。										平成31年4月	
平成31年度	事業費（経費）			財源内訳（単位：千円）								
	225,989 千円			国庫支出金	66,042	県支出金	39,134	地方債	その他	一般財源	120,813	
事業費 積算内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設型保育給付費 225,989千円 （うち たかとりこども園分 117,391千円） （うち 翼幼保園分 108,598千円） 											
平成31年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施 スケジュール	事業運営 ←—————→											
予算書及び予算説明書該当ページ	155ページ											

これまでの主な取組と成果

事業年度	平成27年度 ~ 平成30年度		総事業費	426,196千円		
これまでの主な取組と成果	市内の認定こども園1園（翼幼保園）及び市外の認定こども園（広域入所）の利用児童を受け入れた。					
平成30年度 (予算)	取組内容	市内の認定こども園1園（翼幼保園）及び市外の認定こども園（広域入所）の利用児童を受け入れる。				
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	113,483 千円	28,969	17,863			66,651
主な経費	<ul style="list-style-type: none"> 施設型保育給付費 113,483千円 （うち 翼幼保園分 108,733千円） 					
平成29年度 (決算)	取組内容	市内の認定こども園1園（翼幼保園）及び市外の認定こども園（広域入所）の利用児童を受け入れた。				
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	102,395 千円	33,865	19,448			49,082
主な経費	<ul style="list-style-type: none"> 施設型保育給付費 102,395千円 （うち 翼幼保園分 101,389千円） 					

主要・新規事業等

事業名等	公園整備管理事業（公園等整備工事）【新規】											
担当グループ	都市政策部都市整備グループ											
総合計画区分	基本目標	Ⅲ 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう				個別目標	(8) 自然と都市機能が調和した 都市空間をつくります					
予算区分	会計	一般会計		款	08土木費	項	05都市計画費	目	04公園緑化費			
アクションプラン	事業名 01公園整備管理事業											
事業概要	<p>■該当する □該当しない</p> <p>事業の必要性・実施の背景 昭和40年代後半より区画整理事業等において短期間に整備された施設が多く、一斉に老朽化が進行している。その施設は修繕等により維持しているが、耐用年数を超過し、修繕費が年々増加するとともに、損傷等による事故の危険性も高まっている。また、公園における地域利用及び利用状況等が多様化するなか、公園施設のあり方を今後の維持管理費等を踏まえて検討し、長寿命化または再整備していく必要がある。</p> <p>目的（何のために） 後世山公園は供用開始してから30年以上が経過し、老朽や摩耗等の原因により、平成30年の点検結果により、現在一部の遊具の利用を休止しているため、遊具を更新し、利用者へ安心して安全に利用できる環境を提供する。</p> <p>対象（誰・何を対象に） 後世山公園の利用者</p> <p>事業内容（手段、手法など） 地域住民に最も身近な公園として、より愛着を持って親しまれるものにしていくため、新たに整備する遊具については、利用者実態調査結果を踏まえ、地元町内会やまちづくり協議会と協議する等、地域の要望を取り入れて更新する。</p>											
目指す成果（期待される効果）	後世山公園の遊具を更新し、安心して安全に利用できる公園となる。											
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）									達成時期（いつまでに）		
	後世山公園の遊具を更新する。									平成32年3月		
平成31年度	事業費（経費）			財源内訳（単位：千円）								
	7,321 千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源				
				1,800	3,900				1,621			
事業費積算内容	後世山公園遊具改修工事 7,321千円											
平成31年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール	← 県費補助申請 →			← 地元等調整 →			← 工事積算・工事契約 →			← 施設整備 →		
予算書及び予算説明書該当ページ	203ページ											

主要・新規事業等

事業名等	教育指導事業（プログラミング教育支援員謝礼等）【新規】													
担当グループ	教育委員会学校経営グループ													
総合計画区分	基本目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう						個別目標	(4) 学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます					
予算区分	会計	一般会計	款	10教育費	項	01教育総務費	目	03教育指導費						
事業名	01教育指導事業													
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない													
事業概要	事業の必要性・実施の背景	新学習指導要領の改訂に伴い、平成32年度から小学校においてプログラミング教育が必修化される。高浜市では「高浜版プログラミング教育」を実施することで、「コンピュータに慣れ親しみ、プログラミング的思考を用いて、問題の解決に必要な解決策を見つけ、自ら解決できる子」の育成を目指している。												
	目的（何のために）	「高浜版プログラミング教育」のカリキュラム作成や教材開発を計画的に進め、小学校におけるプログラミング教育を円滑に実施できるよう準備するため。												
	対象（誰・何を対象に）	市内全小学校児童												
	事業内容（手段、手法など）	<ul style="list-style-type: none"> ・「高浜版プログラミング教育」のカリキュラムの作成や教材の開発 ・「高浜版プログラミング教育」の先行モデル授業の実施 ・教職員研修（愛知教育大学・たかはま夢未来塾による指導・助言） ・プログラミング教育支援員の派遣 ・小学校各段階における学習到達目標の作成 												
目指す成果（期待される効果）	小学校の各段階における「高浜版プログラミング教育」のモデル授業を確立する。													
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）			
	「高浜版プログラミング教育」のカリキュラムを策定し、市内全小学校において先行モデル授業を実施する。										平成32年3月			
平成31年度	事業費（経費）			財源内訳（単位：千円）										
	2,636 千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	2,636					
事業費積算内容	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング教育支援員謝礼 1,610千円 ・消耗品費（自律型ロボットプログラミングキット購入費） 1,026千円 													
平成31年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期				
事業実施スケジュール	自律型ロボットプログラミングキット購入			教職員研修			先行モデル授業（全小学校）							
	「高浜版プログラミング教育」カリキュラム作成作業部会（年3回）													
予算書及び予算説明書該当ページ	213ページ													

主要・新規事業等

事業名等		児童生徒健全育成事業（学校司書賃金等）【新規】											
担当グループ		教育委員会学校経営グループ											
総合計画区分		基本目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう					個別目標	(4) 学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます				
予算区分		会計	一般会計		款	10教育費		項	01教育総務費		目	03教育指導費	
アクションプラン		<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない											
事業概要	事業の必要性・実施の背景	子どもの実態や社会の変化、次期学習指導要領による新たな教育の流れを踏まえ、教育環境を再構築する必要がある。各学校には、司書教諭を置いているが、担任や他の分掌も兼ねており、学校図書館の管理、整備に十分な時間をかけることは難しい。学校図書館の環境・運営改善、子どもや教職員による利用促進に資するために、学校司書の配置が必要である。											
	目的（何のために）	子どもたちの「主体的・対話的で深い学び」を効果的に進める基盤としての役割を学校図書館が果たすため。また、学校図書館の整備が、教職員の授業力向上（探究的な学習の工夫、言語活動の充実、単元に関連した資料の準備等）につながるため。											
	対象（誰・何を対象に）	高浜市の子ども・教職員											
	事業内容（手段、手法など）	【実施内容】小学校に1名配置（中学校は年度初めと終わりに、整備のため勤務予定）し、平成32年3月までに、学校司書を活用した小学校図書館の整備充実を図る。 ①4月2週目までに、巡回方法を決定する。 ②「学校司書の仕事」について、各校へ周知する。 ※「学校司書の仕事」とは、図書館の環境整備・授業支援・市立図書館との連携。 ③8月までに、学校司書と図書館関係者（図書館担当者・図書ボランティア）との情報交換会・研修の場を設定する。 ④学校司書配置における各校の実践報告をまとめる。											
目指す成果（期待される効果）	学校司書を配置することで、「本を借りる場」だった図書館が「本で学ぶ場」として、学校図書館が整備され、学習に意欲的に取り組む子どもが増加する。												
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）									達成時期（いつまでに）			
学校図書活用に対する理解の促進と体制づくりに着手する。									平成32年3月				
平成31年度	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）										
	1,508 千円		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					1,508	
事業費積算内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校司書賃金 1,295千円 ・社会保険料 197千円 ・雇用保険料 12千円 ・労災保険料 4千円 												
平成31年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			
事業実施スケジュール	司書配置			★	情報交換会・研修会			★	情報交換会・研修会			→	
予算書及び予算説明書該当ページ		215ページ											

主要・新規事業等

事業名等	小学校維持管理事業 (高取小学校大規模改造事業実施設計等業務委託)《債務負担行為》【継続】													
担当グループ	教育委員会学校経営グループ													
総合計画区分	基本目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう						個別目標	(4) 学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます					
予算区分	会計	一般会計	款	10教育費	項	02小学校費	目	01学校管理費						
	事業名 01小学校維持管理事業													
アクションプラン	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない													
事業概要	事業の必要性・実施の背景	高取小学校は、南校舎が築53年、北校舎が築43年と老朽化が進んでおり、今後も厳しい財政が予想される中では、効果的・効率的に長寿命化対策を行い、校舎を長く使っていくことが欠かせない。												
	目的(何のために)	高取小学校校舎を将来にわたって長く使い続けるため、大規模改造に向けた実施設計等を行うため。												
	対象(誰・何を対象に)	高取小学校校舎、及び屋内運動場												
	事業内容(手段、手法など)	高取小学校の大規模改造に向けた実施設計を行う。 ・外壁等の経年劣化を回復するもの ・水道、電気、ガス管等のライフラインの更新 ・建物の機能や性能を向上させるもの ・学校現場との協議等												
目指す成果(期待される効果)	物理的な不具合を直すとともに、建物の機能や性能を現在の学校が求められている水準まで引き上げる大規模改造につなげ、学校施設の長寿命化を図る。													
目標設定(なるべく定量的な目標値を記入)	目標(何をどのようにする)										達成時期(いつまでに)			
	高取小学校の大規模改造に向けた実施設計及び工事監理を完了する。										平成37年3月			
平成31年度	事業費(経費)			財源内訳(単位:千円)										
	17,191 千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			17,191			
事業費積算内容	《現年度予算》 ・高取小学校大規模改造事業実施設計等業務委託料 17,191千円 《債務負担行為》 期間:平成32年度~平成36年度 限度額:高取小学校大規模改造事業実施設計等業務委託料 72,856千円 《合計》 90,047千円													
平成31年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期				
事業実施スケジュール	契約手続き			大規模改造事業実施設計										
予算書及び予算説明書該当ページ	219・274ページ													

これまでの主な取組と成果

事業年度	平成29年度 ~ 平成30年度	総事業費	5,552千円			
これまでの主な取組と成果	高取小学校大規模改修基本計画の策定、及び長寿命化改修基本調査を実施し、今後の大規模改修に向けた準備を進めることができた。					
平成30年度 (予算)	取組内容	高取小学校の耐力度調査等の実施				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
	3,586千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源	
					3,586	
主な経費	長寿命化計画策定基礎調査業務委託(高取小) 3,586千円					
平成29年度 (決算)	取組内容	高取小学校大規模改修に係る基本計画の策定				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
	1,966千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源	
					1,966	
主な経費	高取小学校大規模改修基本計画策定業務委託 1,966千円					

主要・新規事業等

事業名等	小学校維持管理事業（長寿命化計画策定業務委託等） 中学校維持管理事業（長寿命化計画策定基礎調査業務委託）《債務負担行為》【継続】													
担当グループ	教育委員会学校経営グループ													
総合計画区分	基本目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう						個別目標	(4) 学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます					
予算区分	会計	一般会計	款	10教育費	項	02小学校費・03中学校費	目	01学校管理費						
事業名	01小学校維持管理事業・02中学校維持管理事業													
アクションプラン	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない													
事業概要	事業の必要性・実施の背景	文部科学省から平成32年度までに学校施設の長寿命化計画を策定することが求められている。そこで、各学校で実施した長寿命化改修基本調査の結果に基づき、今後の改修や建替えに向けた方向性（時期・内容・費用等）を検討し、学校毎の長寿命化計画を策定する必要がある。												
	目的（何のために）	学校施設は未来を担う子どもたちが集い、生き生きと学び、生活をする場であるとともに、災害時には避難所としての役割も果たす重要な施設であり、学校施設の老朽化対策は先送りのできない重要な課題である。そこで、中長期的な維持管理・更新に係るトータルコストの縮減や予算の平準化を図るため、具体性を持った実行可能な計画を策定する。												
	対象（誰・何を対象に）	学校施設												
	事業内容（手段、手法など）	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化計画（吉浜小、高取小、港小）を策定する。 ・長寿命化計画策定基礎調査（翼小、高浜中、南中）を実施する。 												
目指す成果（期待される効果）	学校施設の長寿命化計画と公共施設総合管理計画・長期財政計画との整合が図られ、学校施設の計画的な大規模改造・更新等が行われている。													
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）			
	全小中学校の長寿命化計画を策定する。										平成33年3月			
平成31年度	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）											
	43,186 千円		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源						43,186	
事業費積算内容	《現年度予算》 ・長寿命化計画策定業務委託料（吉浜小、高取小、港小） 14,960千円 ・長寿命化計画策定基礎調査業務委託料（翼小、高浜中、南中） 28,226千円 計 43,186千円													
	《債務負担行為》 期間：平成32年度 限度額：長寿命化計画策定業務委託料（高浜小、翼小、高浜中、南中） 27,170千円													
平成31年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期				
事業実施スケジュール	入札 手続	現地調査・調査結果分析・報告書作成（翼小、高浜中、南中）												
	入札 手続	長寿命化計画策定（吉浜小、高取小、港小）												
予算書及び予算説明書該当ページ	219・223・276ページ													

これまでの主な取組と成果

事業年度	平成29年度 ~ 平成30年度	総事業費	17,213千円			
これまでの主な取組と成果	吉浜小、高取小、港小を対象とした耐力度調査や基礎調査を行い、建物の現状を把握することができた。					
平成30年度 (予算)	取組内容	◆耐力度調査の実施 ◆長寿命化改修基礎調査の実施 ※吉浜小、高取小、港小を対象校として実施				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	15,247千円					15,247
主な経費	○耐力度調査及び長寿命化基礎調査業務委託料(吉浜小、高取小、港小) 15,247千円 ※高取小は耐力度調査のみ					
平成29年度 (決算)	取組内容	◆長寿命化改修基礎調査の実施 ※高取小を対象校として実施				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,966千円					1,966
主な経費	○長寿命化基礎調査業務委託料(高取小) 1,966千円					

主要・新規事業等

事業名等	小学校維持管理事業（港小学校照明器具LED化工事） 中学校維持管理事業（高浜中学校・南中学校照明器具LED化工事）【継続】												
担当グループ	教育委員会学校経営グループ												
総合計画区分	基本目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう						個別目標	(4) 学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます				
予算区分	会計	一般会計	款	10教育費	項	02小学校費・03中学校費	目	01学校管理費					
事業名	01小学校維持管理事業・02中学校維持管理事業												
アクションプラン	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない												
事業概要	事業の必要性・実施の背景	平成30年度より学校環境衛生基準が改正され、教室における照度基準が引上げされたことに伴い、現行の照明器具を取り換えることにより、教室等における適切な学習環境を確保する必要がある。 また、PCB廃棄物混入の可能性のある蛍光灯が使用されており、児童生徒への影響を回避し、安全を確保する必要があるとともに、取り外した蛍光灯安定器を確認し、含まれるPCB廃棄物を期限内（平成32年度まで）に処分する必要がある。											
	目的（何のために）	港小学校、高浜中学校、南中学校の3小中学校にある照明器具をLED化して、学習環境の向上を図り、学校環境衛生基準を満たしたものとする。また、取り外した蛍光灯の安定器内にPCB廃棄物が含まれているかどうかを確認し、PCB廃棄物を期限内（平成32年度まで）に処分する。											
	対象（誰・何を対象に）	港小学校、高浜中学校、南中学校											
	事業内容（手段、手法など）	港小学校・高浜中学校・南中学校の照明器具LED化工事を実施する。											
目指す成果（期待される効果）	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の照度向上を図り、学校環境衛生基準に適合した学習環境を確保する。 ・施設の省エネルギー化を図る。 ・PCB廃棄物による児童生徒への影響を回避し安全を確保する。 ・期限内（平成32年度まで）にPCB廃棄物を確実にかつ適正に処分する。 												
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）		
	3小中学校の照明器具LED化を完了する。										平成32年3月		
平成31年度	事業費（経費）			財源内訳（単位：千円）									
	82,829 千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			8,429		
事業費積算内容	小学校維持管理事業 17,527千円 ・港小学校照明器具LED化工事費 17,527千円 中学校維持管理事業 65,302千円 ・高浜中学校照明器具LED化工事費 37,950千円 ・南中学校照明器具LED化工事費 27,352千円												
	平成31年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業実施スケジュール	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			
	契約手続き →			照明器具LED化工事 →									
予算書及び予算説明書該当ページ	219・225ページ												

これまでの主な取組と成果

事業年度	平成30年度	総事業費	60,157千円			
これまでの主な取組と成果	吉浜小学校、高取小学校の照明器具をLED化し、教室の照度向上や省エネルギー化を図るとともに、取り外した安定器へのPCB混入の有無を確認した。					
平成30年度 (予算)	取組内容	吉浜小学校と高取小学校の照明器具をLED化した。				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
	60,157千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源	
				53,000	7,157	
主な経費	吉浜小学校照明器具LED化工事費 39,354千円 高取小学校照明器具LED化工事費 20,803千円					

主要・新規事業等

事業名等		中学校維持管理事業（高浜中学校音楽室増築工事等）【継続】										
担当グループ		教育委員会学校経営グループ										
総合計画区分		基本目標 II 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう					個別目標 (4) 学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます					
予算区分		会計 一般会計		款 10教育費		項 03中学校費		目 01学校管理費				
		事業名 02中学校維持管理事業										
アクションプラン		<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない										
事業概要	事業の必要性・実施の背景	高浜中学校は生徒数が年々増加しており、平成32年度のクラス増に対応するため、平成31年度中に既存音楽室の普通教室化が必要である。また、既存音楽室の普通教室化に合わせて、別棟で音楽室増築工事を実施する。										
	目的（何のために）	高浜中学校の生徒数増加に伴い、クラス増が見込まれるため、学習環境の整備を図る。										
	対象（誰・何を対象に）	高浜中学校										
	事業内容（手段、手法など）	【工事内容】 ① 音楽室増築工事 ・土木工事 ・建築工事 ・設備工事 ② 上記工事の工事監理業務委託 ③ 既存音楽室の普通教室化工事										
目指す成果（期待される効果）		平成32年度のクラス増に対応する。										
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）		目標（何をどのようにする）								達成時期（いつまでに）		
		既存音楽室の普通教室化と音楽室増築工事を完了する。								平成32年3月		
平成31年度	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）									
	224,261 千円		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	46,346				
事業費積算内容		① 高浜中学校音楽室増築工事費		185,614千円								
		② 高浜中学校音楽室増築工事監理業務委託料		6,994千円								
		③ 高浜中学校既存音楽室普通教室化工事費		31,653千円								
平成31年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール	契約手続き		音楽室増築工事									
	契約手続き			既存音楽室普通教室化工事								
予算書及び予算説明書該当ページ		223・225ページ										

これまでの主な取組と成果

事業年度	平成30年度	総事業費	5,759千円			
これまでの主な取組と成果	平成31年度に音楽室増築工事を行うための実施設計を行った。					
平成30年度 (予算)	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地質調査、敷地現況高低測量 ・実施設計 ・建築確認申請 				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	5,759 千円					5,759
主な経費	高浜中学校音楽室増築工事設計業務委託料 5,759千円					

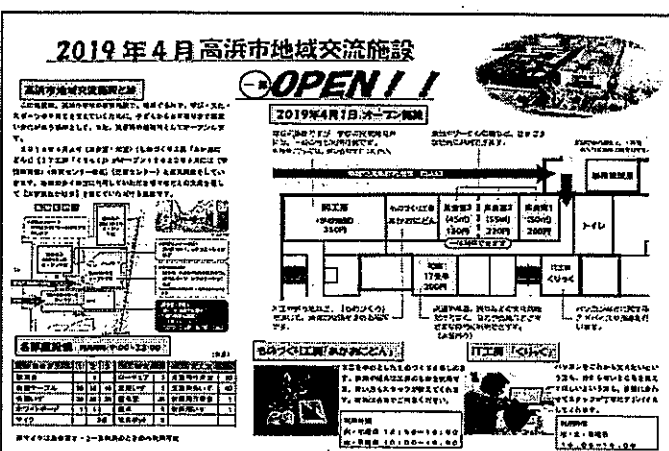
主要・新規事業等

事業名等	生涯学習施設管理運営事業（地域交流施設運営業務委託）【新規】											
担当グループ	こども未来部文化スポーツグループ											
総合計画区分	基本目標	Ⅱ 学び合い 力を合わせて豊かな未来を育もう					個別目標	(3) 学び・文化・スポーツの輪を広げ、まちの子カラを育みます				
予算区分	会計	一般会計		款	10教育費		項	05社会教育費		目	02生涯学習機会提供費	
	事業名 03生涯学習施設管理運営事業											
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない											
事業概要	事業の必要性・実施の背景	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の人口構造や財政見通しなどを踏まえ、「公共施設総合管理計画」に基づき、公共施設の最適配置を進める必要がある。 ・公共施設のあり方のモデルとなるよう、学校を核とした施設の複合化・集約化を進め、地域コミュニティの拠点を創出していく必要がある。 										
	目的（何のために）	公共施設のあり方のモデルとなるよう、学校を核とした施設の複合化・集約化を進め、子どもから高齢者まで多様な住民が集う「地域コミュニティの拠点」として、地域ぐるみでまなび・文化・スポーツや子育て・子育て等を支えていく環境を創出する。										
	対象（誰・何を対象に）	市民										
	事業内容（手段、手法など）	第1期施設（集会室・和室等）の供用開始および運営改善、第2期施設（メインアリーナ・サブアリーナ等）の供用開始に向けた各種準備 <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人たかはまスポーツクラブとの運営委託契約締結 ・市民を交えた地域交流施設の運営を考える会の開催 ・施設管理者、学校等との協議 ・例規等の制定 <p style="text-align: right;">など</p>										
目指す成果（期待される効果）	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な市民が集う新たな交流・まなびの場を創出し、世代を超えた交流などを促進する。 ・複合化・集約化により、施設の維持管理コスト等の節減を図る。 											
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）									達成時期（いつまでに）		
	①第1期施設を供用開始する。 ②第2期施設供用開始に向け、運営方法案等について、市民を交えた検討を行う。									①平成31年4月 ②平成32年8月		
平成31年度	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）									
	5,343 千円		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
						1,186		4,157				
事業費積算内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流施設運営業務委託料 5,343千円 											
平成31年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール	<input type="checkbox"/> 委託契約締結→事業者運営											
	<input checked="" type="checkbox"/> 利用受付 <ul style="list-style-type: none"> ◆地域交流施設の運営を考える会での運営検討（利用ルール案、運営方法案） ◆事業者と市民団体等を交えた協議 											
<input checked="" type="checkbox"/> 議案上程（設置管理条例等の改正）												
予算書及び予算説明書該当ページ		233ページ										

これまでの主な取組と成果

事業年度	平成29年度 ~ 平成30年度	総事業費	235千円		
これまでの主な取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> 各種関係団体と必要な設備等について協議を重ね、供用開始のための準備をした。 市民を交えた「地域交流施設の運営を考える会」を開催し、運営方法等について決定した。 パンフレットやHP、内覧会、愛称募集などで周知した。 				
平成30年度 (予算)	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 市民を交えた「地域交流施設の運営を考える会」を開催し、運営方法等について決定した。 NPO法人たかまスポーツクラブと準備業務委託契約を締結し、供用開始のための準備をした。 			
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)			
	235千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
					235
主な経費	(仮称) 高浜市地域交流施設運営準備業務委託料 235千円				
平成29年度 (決算)	取組内容	あおみが丘コミュニティ(株)や関係団体と施設の設備等について協議した。			
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)			
	0千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
主な経費					

資料等(位置図等)



2019年4月高浜市地域交流施設
OPEN!!

2019年4月1日(木)オープン

高浜市地域交流施設

施設概要

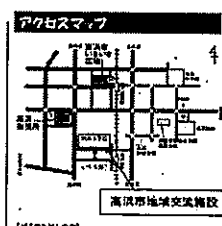
- 〒475-0001 高浜市
- 〒475-0001 高浜市
- 〒475-0001 高浜市

申請方法


●利用申請方法

●申請窓口

アクセスマップ



高浜市地域交流施設



高浜市地域交流施設

← 高浜市地域交流施設
パンフレット